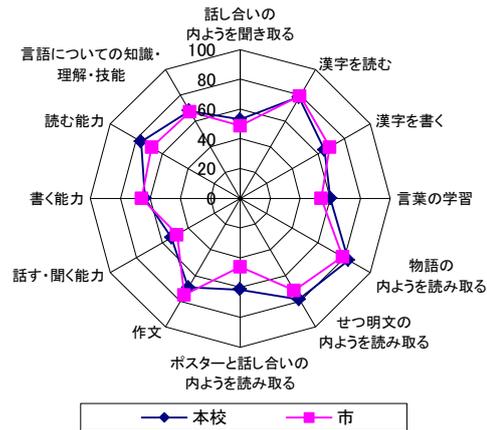


宇都宮市立平石北小学校 第4学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞き取る	53.0	48.8
	漢字を読む	78.4	79.3
	漢字を書く	64.8	68.8
	言葉の学習	60.2	53.8
	物語の内ようを読み取る	83.3	78.7
	せつ明文の内ようを読み取る	78.4	71.6
	ポスターと話し合いの内ようを読み取る	61.4	46.3
	作文	69.3	75.1
観点別	話す・聞く能力	53.0	48.8
	書く能力	63.6	65.9
	読む能力	76.3	68.4
	言語についての知識・理解・技能	67.8	67.2



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞き取る	・市の平均正答率を上回ってはいるが、他の内容に比べると50%台と低くなっている。	・きちんと話の内容を聞き取ることを指導していく。その上で、話の中心に気を付けて聞くなどの聞くポイントをおさえていき、何を聞き取ることが大切なのか考えながら聞くようにしていく。さらに話し合いに必要な力として、互いの考えの相違点や共通点を考えることがある。これは、相手の考えをきちんと聞かなければ考えて話すことができない。聞いたことを受けて話すことを指導していく。
漢字	・読み書きともに、市の平均正答率を下回っている。読みについては、3年生の漢字は80%以上の正答率であるが、4年生の漢字は60~70%となっている。書きについては、問題によって差があるが、60%台となっている。	・漢字を生活の中で使っていくことが大切である。日頃の練習の積み重ねはもちろんのこと、使っていくことで大切さを意識させたい。漢字を書くことについては、形や止め、はらい、はねなどに注意して書くように指導するとともに、漢字辞典を使って漢字集めをするなど意味や成り立ちに着目させた学習を取り入れていく。
言葉の学習	・市の平均正答率を上回ってはいるが、他の内容に比べると60%台となっている。	・文の構成、特に修飾語についての理解を深めるために、何を詳しくしている言葉なのかを簡単な例文を使って繰り返しおさえていく。
物語の内ようを読み取る	・市の平均正答率を上回り、80%以上の正答率となっている。登場人物の気持ちは、ほぼ読み取ることができている。	・場面ごとの登場人物の気持ちは読み取れるが、様子と気持ちの変化となると読み取れなくなるのが多いことから、物語全体の流れが分かるように内容をおさえ、そこに場面の様子と登場人物の気持ちの変化を入れていく。また、教科書の文章に沿っておさえていく。
せつ明文の内ようを読み取る	・市の平均正答率を上回っている。文と文のつながりに注意して文章を読んだり、目的に応じて細かい点に注意して文章を読み取ったりすることは90%以上できている。	・文章の内容はつかむことができているので、今後も説明文を読むときは、段落ごとの内容やまとまりを意識させ、どのような文章構成になっているかおさえていく。
ポスターと話し合いの内ようを読み取る	・市の平均正答率を上回っているが、60%台の正答率となっている。	・目的に応じた資料の読み方を指導し、まとめる活動を多く取り入れていく。
作文	・市の平均正答率を下回っている。自分の意見とその理由を区別して書くことはできているが、指定された長さで書くことができていない。	・さまざまな条件を付けた作文の指導をしていく。また、相手や目的に応じた文章の書き方をおさえ、表現方法を広げていく。さらに、作文を書くときには既習事項を生かせるように、繰り返し大切な表現方法を想起させていく。